

（件名）黒竜江省の観光産業と氷雪経済について

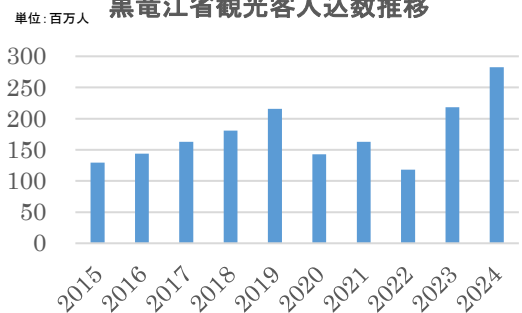
1 観光分野の成長

- ・黒竜江省は中国の最北部に位置する省で、省都のハルビン市は寒冷な気候や異国情緒漂う建築物などにより、中国内外で人気の観光地となっています。
- ・黒竜江省統計局の発表によると、2024 年の黒竜江省の観光客入込数は 2.8 億人で、前年比 29.1%増加の結果となりました。2020 年から 2022 年まではコロナ禍により落ち込んだものの、2023 年にはコロナ禍前と同水準まで回復し、2024 年には過去 10 年間で最高の入込数を記録しています。
- ・観光客増加の背景には、中国内での「氷雪経済」（雪や氷を活用したスポーツや観光などの経済活動）への関心の高まりや、SNS を通じてハルビン市内の氷祭り（冰雪大世界）の様子が拡散したことなどがあります。観光客の増加とともに旅行関連の消費額も増加しており、観光分野は黒竜江省の重要な産業の一つとして今後も成長が期待されています。



洗練された建物が並ぶハルビン市の観光地「中央大街」

黒竜江省観光客入込数推移



（出展）黒竜江省統計局統計年鑑より筆者作成

2 氷雪経済の振興

- ・観光客増加の主要因である氷雪経済ブームは 2022 年の北京冬季オリンピックが主な契機となっており、そのトレンドは黒竜江省などの中国東北部だけでなく、上海にも世界最大規模の屋内スキー場がオープンするなど、中国内に広く波及しています。
- ・今年、黒竜江省でも氷雪経済に関するトピックが相次ぎました。まず、ハルビン氷祭りを目当てに春節期間（1 月 28 日～2 月 4 日）にハルビン市を訪れた観光客は延べ 1,200 万人を超え過去最高の規模となり、また春節後の 2 月 7 日から 1 週間ハルビン市でアジア冬季競技大会が開催されたことで、国内外から多くのアスリートや観光客が集まりました。
- ・これらのイベント開催に加えて、氷祭り終了後の 2 月 27 日には、氷の世界を体感できる屋内冰雪テーマ施設「夢幻冰雪館」がリニューアルオープンしています。この施設の内部は常時氷点下 8～12℃程度に保たれ、2.3 万㎡の広大なスペースは世界最大の屋内冰雪テーマ施設としてギネス記録にも認定されています。施設内では氷の彫像、オブジェ、建築物、スライダーなどを楽しむことができ、冬季以外でも雪や氷を堪能できることが大きな魅力となっています。
- ・ソフト・ハード両面で進められる氷雪経済への取組は、黒竜江省の経済発展を牽引する原動力として注目されています。



夢幻冰雪館の氷柱トンネル



冬季アジア大会マスコット「浜浜（ピンピン）」